

自転車乗用環境実態調査

平成26年11月

- 調査名称 自転車乗用環境実態調査
- 調査日時 ①平成26年10月20日(月) [午後]15:00～17:00
②平成26年10月24日(金) [午後]15:00～17:00
- 調査場所 ①大崎駅東口から山手通りを直進 1800m(新馬場駅付近)
②大崎駅西口(半径 500m)の周辺道路
- 調査内容
- ・駐輪状況(放置含む)
 - ・自転車レーンの確認
 - ・危険箇所の選定(交差点等)
 - ・歩道上の障害物確認等(点字ブロック封鎖等)
 - ・自転車の通行障害(歩行者の迷惑)確認等
 - ・その他

① 大崎駅東口周辺

今回、調査した大崎駅東口周辺も前回までに調査した品川区に存在するため、大崎駅周辺も同様に放置自転車禁止区域に該当しており、10 台程度の放置自転車が区域内に存在していた。

駅東口周辺には、1 箇所の区営駐輪場が山手通り高架下に設置(収容台数 200 台:定期利用・当日利用各 100 台)されていたが、ほぼ満杯であった。

なお、今回の調査区域は、道路が凹凸的な場所が数ヶ所存在し、自転車だけでなく歩行者も危険(対向車・人)を慮げられる感があった。

同様に、山手通りの一部区間の歩道が工事中のため、一時的に狭い所があり、自転車利用者だけでなく歩行者にとっても危険な場所があった。

また、自転車にとって容易な通行が阻害される交差点が 2 箇所(居木橋周辺・北品川二丁目)存在していた。

② 大崎駅西口周辺

今回、調査した大崎駅西口周辺も、同様に品川区に存在するため、駅周辺は放置自転車禁止区域に該当しており、多くの放置自転車が区域内に存在していた。

駅西口周辺には、1 箇所の区営地下駐輪場が設置(収容台数 950 台:定期利用 650 台・当日利用 300 台)され、8~9 割方の自転車が収容されていた。

また、NBF大崎ビル周辺の建物一帯は、放置自転車禁止区域に該当しているため同ビルの周囲に駐輪禁止の告知案内が掲出されていた。

さらに駅前通りの一部では、車道が自転車指定通行区分帯に色分け(青色)されていたが、幅が 60cm程度で自転車 1 台分のスペースとなっていたが、一部が側溝上にあり、雨天時には、スリップの恐れがある感を否定できない。

なお、今回のエリアには、自転車にとって容易な通行が阻害される交差点が存在しなかった。

[総合]

駅の東西によって放置車が存在するのは、共通であった。

今回の大崎地区においては、東西に駐輪場が設置されていたが、収容台数が 1 対 5 程度の比率で圧倒的に東口は、飽和状態であった。

一方、西口は、収容台数に余裕があるため、調査当日は、空のランプが表示されていた。

自転車にとって容易な通行が阻害される交差点は、東口だけに存在し、西口は、東口に比べ交通量も少ないためか、存在しなかった。

なお、自転車指定通行区分帯が駅前の特定区域のみだったが、周辺地域に延長されれば、更なる有効活用へと繋がる。

大崎駅東口周辺



放置自転車禁止区域(A)

放置自転車(B)



放置自転車(F)

放置自転車(G)



放置自転車(L)

危険箇所(J)



危険箇所(K)



工事箇所(I)



工事箇所(M)



居木橋(C)



居木橋周辺(D)



居木橋周辺(E)



北品川二丁目(H)



駐輪場(N)



駐輪場(N)



駐輪場(N)

大崎駅西口周辺



放置自転車(A)



放置自転車(B)



放置自転車(C)



放置自転車(D)



放置自転車(E)



放置自転車(F)



放置自転車(G)



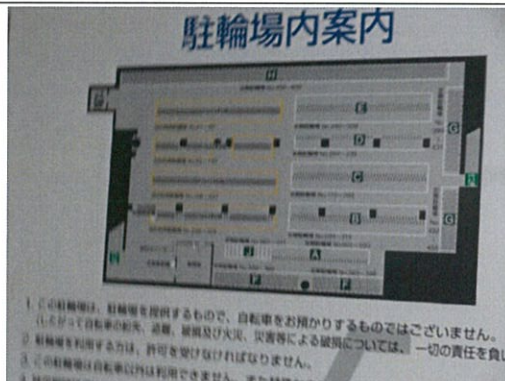
放置自転車(H)



駐輪禁止の告知案内(H)



駐輪場(I)



駐輪場案内(I)



駐輪場(I)



自転車指定通行区分帯(J)



自転車指定通行区分帯(K)



自転車指定通行区分帯(L)

